

新宿ターミナル協議会（第3回）

議事概要

1. 日時・場所

平成 28 年 3 月 18 日（金）9 時半～11 時，都庁第二本庁舎 31 階 特別会議室 21

2. 出席者

別紙 参加者名簿のとおり

3. 議題

- (1) 検討のとりまとめについて
- (2) 基本ルール案について
- (3) 今後の予定について
- (4) 意見交換

4. 配布資料

- ・ 議事次第
- ・ 資料 1 利用者の視点に立った新宿ターミナルを目指して（案）
- ・ 資料 2 新宿ターミナル基本ルール（案）
- ・ 資料 3 今後の予定（案）

5. 意見交換

岸井教授（座長）

バリアフリーについて、鉄道間の乗換動線以外にも、駐車場との接続も重要である。
今後その点について、より工夫をしていけたら良い。

障害者の方々も強い問題意識をお持ちであると思う。障害者団体との意見交換はどのようにしているのか。

都市整備局都市基盤部交通プロジェクト担当課長（事務局）

本協議会の前にも「障害者と家族の生活と権利を守る都民連絡会」、「東京都盲人福祉協会」に伺い、今回の取組について説明をさせていただいた。今後も意見交換をしていきたい。

岸井教授（座長）

配布用のマップとは別に、バリアフリーマップを作成するのか。

都市整備局都市基盤部交通プロジェクト担当課長（事務局）

マップ上の表記が煩雑にならないよう、別に作成するという意見もあったが、バリアフリーマップに、案内に最低限必要な情報を掲載しようとする、配布用のマップ

と同程度の情報量が必要になる。そのため、配布用マップの中にバリアフリー施設を明示させていくことで、代替できないかと考えている。

岸井教授（座長）

このマップだけだと、段差がある場所が必ずしも見えない。行ってみると設備がなく、そこからまたエレベーターを探すということになる。障害者団体の方とよく相談してほしい。ウェブ上に情報を載せるサービスを行っているところもある。是非、検討してほしい。

都市整備局都市基盤部交通プロジェクト担当課長（事務局）

検討していく。バリアフリー施設の案内に着目したサインシステムについても取り込む方向性を盛り込んだ。全体の案内サインシステムのサブシステムとなるものである。配布用マップと、このサブシステムを合わせて活用していくことで、障害のある方々を支えていくインフラにならないかと考えている。

岸井教授（座長）

配布用マップには西口のバスのりばのみが掲載されているが、南口の新しいターミナルに入る高速バスは掲載しなくてもいいのか。

都市整備局都市基盤部交通プロジェクト担当課長（事務局）

同一のものに記載するのか、バスタ新宿の中の案内について、補完していくようなものを合わせて配布することにするのか、東京国道事務所と調整しながら、検討させていただきたい。

国土交通省関東地方整備局東京国道事務所長

高速バスの乗降場所が分かるようにしておけばよいのではないかと。使う人は路線バスか、高速バスかはわかっていると思う。高速バスを使う方はとりあえず、バスタ新宿に行っていたら、そこで何階なのかなど現地に行けばわかる。まずはバスタ新宿に行ってもらいたいことが重要だと思う。

赤瀬氏（専門アドバイザー）

配布用マップの中で、バスタ新宿に案内をつなげればよい。バスタ新宿に集約される約1,600路線をすべて掲載するというのではない。

都市整備局都市基盤部交通プロジェクト担当課長（事務局）

つながりがうまくいっていないかもしれない。事務局で調整させていただきたい。

岸井教授（座長）

西口と南口には、地上か地下に観光案内所があるが、東口には今後もつづらないのか。

都市整備局都市基盤部交通プロジェクト担当課長（事務局）

配布用マップには、日本政府観光局認定の観光案内所のみを記載している。

岸井教授（座長）

このゾーンにもあると良い。

赤瀬氏（専門アドバイザー）

基本ルールは、議論を積み重ね広範な視点でまとめられている。これが実施されると前に進むと思う。

東日本旅客鉄道株式会社東京支社総務部企画部長

この基本ルールに沿って、少しでも進むようにしたい。

案内サインに表記する言語について、日本語と英語のみが選択されているが、JR東日本では、出口の表示については4か国語、ホームでどんな列車が出るかについては2か国語にしている。避難の場合もそうだが、多くのお客様が出口に行くときに、中国語や韓国の方もわかるようになっている。改札から出る方向と入る方向で整合が取れていないため、言語の使い方について今後相談させてほしい。

バリアフリールートについては、かなり難しい問題をはらんでいる。ある乗り場に行くときはバリアフリールートはそちらだが、違う乗り場に行くときは、そのルートで行くと途中で階段がある。お客様の明確な目的、行き先が分からないと案内ができないことがある。全部の場所にエレベーターが設置できればいいが、困難なところもあるため、周辺のビルや商業施設のエレベーターを管理されている方々とも、みなさんでうまく案内していく方法を考えることもしていきたい。

今後、ICT活用で案内される際には、かなり細かくその部分が盛り込めて、ニーズに合わせて、案内ができるといいと思う。

配布用マップの地上図に横断歩道が描かれていない。地上の横断歩道を通っていただく方が早い場合もある。横断歩道を描くよう検討してほしい。

都市整備局都市基盤部交通プロジェクト担当課長（事務局）

バリアフリールートの表示について、これまで議論させていただいた中でも、事務局として悩ましい問題であると認識している。「バリアフリールート」として表示してしまった場合、基準を満たさない部分もあるため、利用者にお叱りを受けてしまうという意見もある。そのため、スタート時点では、使えるエレベーターの位置を積極的に案内していくところから始め、その後、それぞれの乗換ルート上、どういったところを通っていただければ一番良いのか、改札の中を使ったルートも含め、引き続き、バリアフリー・利便性分科会で、議論させてほしい。

配布用マップは作成過程なので、今日いただいた意見を踏まえ、事務局で調整する。

岸井教授（座長）

バリアフリーはなかなか難しい課題である。ICTを使った対応が主流になってくるのではないかと思う。ICTの活用については、積極的に取り組む主体は誰か。

都市整備局都市基盤部交通プロジェクト担当課長（事務局）

この協議会を通じ、議論していきたい。事務局の方から提案をしていく。

岸井教授（座長）

既に色々な取り組みがされているので、連携をうまくとり、お互いにプラスになるような仕掛けにすると実現すると思う。初手から全部というのは難しいので、まずはそれぞれの会社が工夫されている取組をうまく繋げられるようにしてほしい。

国土交通省鉄道局都市鉄道政策課駅機能高度化推進室長

関係者のご尽力でここに至ったことは大変素晴らしいと思う。

配布用マップについて、図の中に示される結節空間が、初めて見た人にわかるかどうか疑問がある。また、エレベーターは全てが24時間運転ではない。その表記があった方がいいのではないか。さらに外国人が手ぶらで観光ができるよう、荷物が預けられるような場所も掲載した方がよいのではないか。

バスタ新宿の外国語表記について、英語だと Shinjuku expressway bus Terminal だが、中国語、韓国語では固有名詞の表現になっている。高速バスターミナルとわからないのではないか。

都市整備局都市基盤部交通プロジェクト担当課長（事務局）

配布用マップの結節空間の表記について、案内サインも含めたトータルのサインシステムとしてどのようにご理解いただけるか、どのように説明を加えていくか、さらに検討をしていきたい。

バスタ新宿の外国語表記については、東京国道事務所と綿密に調整して進めたい。

岸井教授（座長）

地図データの維持管理、更新について、新宿区がやっていただけることになっているが、新宿区にデータを作っていただき、各事業者に配布するということで、印刷はそれぞれやるということか。

都市整備局都市基盤部交通プロジェクト担当課長（事務局）

管理者は新宿区として、それを使っていただくということになる。

岸井教授（座長）

著作権は新宿区にあるということではないか。

都市整備局都市基盤部交通プロジェクト担当課長（事務局）

協議会が作成したものは、共同著作物とみなせるということで、協議会会員全員が著作権を持ち、協議会で合意した役割分担の中であれば手続きなく使用できる。

岸井教授（座長）

他のターミナルでも同じようなくみにするのがいいと思う。新宿での取組がモデルになるので、慎重に実施してほしい。

新宿区都市計画部長

この基本ルールにより、新宿がより使いやすくなればいいと思う。引き続きよろしくお願ひしたい。

岸井教授（座長）

東京都では、ターミナルを出た後の街なかのサインを検討する動きもあり、うまく連携する必要がある。区の役割は大変大きい。同じ地図が使えるのであれば、それを使ってどこまでつなぐかを検討してほしい。

国土交通省関東地方整備局東京国道事務所長

I C Tについては、東京駅のプロジェクトへの参加や、渋谷で社会実験を行った経験もあるが、新宿でも取り組んでいきたい。

デジタルサイネージについて、今後協議会の中でどういう連携をしようとしているかアイデアがあれば教えていただきたい。取り組むのであれば連携させていただきたい。

サインの表記の更新について、ルールが出来たのは良いことだが、2年に1度、地図全体を張り替えることについては、管理者の更新のタイミングに合わないこともあるのではないかと。「更新の手法については、その都度協議する」という記載は、全面替えるのではなく、例えばシール貼りに対応することもあるということか。

都市整備局都市基盤部交通プロジェクト担当課長（事務局）

I C Tの社会実験については、ブルートゥースを使うもの、ビーコンを使うものなど、いろいろなプラットフォームを使って社会実験がされているので、連携させていただいて取り組んでいきたい。

デジタルサイネージの活用については、サイネージ上に災害時の情報を出すだけでも、広告との契約関係で非常にハードルが高い課題があると聞いている。そういったところから、この新宿ターミナル協議会の場を使って、まずは災害時にどのような情報を共通して出して行けるのか、検討を進めていきたい。

サインの表記の更新については、シール貼りが重なっていくと分かりにくくなるという事例も散見されるため、更新の頻度、程度については、この場を活用して、

確認して進めていきたい。

国土交通省関東地方整備局東京国道事務所長

わかりやすく情報発信できることを前提に考えていきたい。

岸井教授（座長）

ICTはオリパラを睨むと日本の象徴のような面があるので、いろいろな議論が出てくると思う。それだけでも大変な話題になる。オリパラの施設の案内をどうするのかということもある。災害時に、どうやって大量の人を誘導するのかということもしっかりと考えておかないといけないので、なかなか課題が大きいと思うが、日本らしい取組として、やるべきことである。引き続き皆さんと議論していきたい。

岸井教授（座長）

特に発言がなければ、今後の予定を確認したい。

都市整備局都市基盤部交通プロジェクト担当課長（事務局）

今後、この基本ルールを公表していく予定である。また、来年度は、実施に向けて詳細に調整を進めていきたい。今後も適宜機会を捉えて協議会を開催し、それぞれの到達点を確認しながら進めていく。時期については改めて調整したい。

岸井教授（座長）

新宿はこういう組織が出来て動いており、形は異なるが渋谷や池袋にもある。新宿の到達点を、東京駅も含めてしっかりと共有しないといけないので、4駅で意見を交換し、東京都の中の主要な駅は同じようなことが動いているということにしていきたい。

赤瀬氏（専門アドバイザー）

全体的に広範な内容が整理されてきていて、大変すばらしい状況で進行しつつある。

バリアフリーの問題は大変難しい。障害をお持ちの方は、視覚障害、聴覚障害、肢体不自由と様々なので、それを一挙に解決するというのはハードルが高い課題である。そのうちのエレベーターの利用案内は、一般の案内にちょっとだけ足して、凌いでしまうというのが世の中の趨勢だが、管理者の区分を越えたエレベーター案内のサブシステムは、一つ柱を立ててしっかりと取り組まないと難しいと感じている。

協議会が来年度以降継続することはすばらしい。行司役の存在というのはこういうプロジェクトで必要不可欠だと思うので、このプロジェクトが継続的に続くよう取り組んでほしい。

岸井教授（座長）

オリンピックは通過点である。ここでスタートを切って、新宿駅から変わってい

くわけだが、何とかその流れに池袋と渋谷も乗せていきたい。さらにそういうことが他の駅にも順次浸透していくというように、レガシーとして次につなげていくよう、引き続き協力いただきたい。

来年度は、個々のサインの具体的な表示場所や表示内容など、難しい調整になる。各社の中にもいろいろな部局があるので時間も要すると思うが、公共サイン優先ということは、会社の中でも共通の認識として持つよう取り組んでほしい。それがターミナル全体を使いやすくして、新宿を良くして、東京を良くすることにつながる。そうすると利用者が増えることにもつながるということは、社内でも説明をしていただきたい。

また、今後継続していくことは大変大事なことである。更新していくというシステムについても本日もご理解をいただいたが、人が変わっても変わらないよう、文書化して交換しておくようなものがあると良い。是非こういう機会に、今後につなげられるような仕組みを作っていただきたい。

東京都都市整備局交通政策担当部長

この基本ルールを取りまとめていただいたことを深く感謝申し上げたい。委員の皆様方、岸井先生、赤瀬先生、すべての皆様方のご尽力により、本日もこういったかたちで取りまとめが出来た。これを足固めとして、今後も引き続き、皆様の意見を伺いながら、しっかり継続、発展させていきたい。

以上

新宿ターミナル協議会（第2回）

出席者名簿

	役職名	出欠
座長	岸井隆幸 日本大学大学院理工学研究科教授	出席
専門アドバイザー	赤瀬達三 株式会社黎デザイン総合計画研究所代表取締役	出席
委員	国土交通省関東地方整備局東京国道事務所長	出席
委員	東京都都市整備局都市基盤部長	欠席
委員	東京都都市整備局交通政策担当部長	出席
委員	東京都建設局道路保全担当部長	代理
委員	東京都交通局企画担当部長	出席
委員	新宿区都市計画部長	出席
委員	新宿区みどり土木部長	出席
委員	東日本旅客鉄道株式会社東京支社総務部企画部長	出席
委員	東京地下鉄株式会社鉄道本部鉄道統括部長	出席
委員	西武鉄道株式会社鉄道本部計画管理部長	出席
委員	京王電鉄株式会社鉄道営業部長	出席
委員	小田急電鉄株式会社交通企画サービス事業本部執行役員交通企画部長	代理
委員	株式会社ルミネ開発企画部長	出席
委員	新宿サブナード株式会社総務部開発推進担当部長	出席
委員	京王地下駐車場株式会社取締役事業部長	出席
委員	一般社団法人東京バス協会理事長	出席
委員	一般社団法人東京ハイヤー・タクシー協会専務理事	代理
委員	一般社団法人東京個人タクシー協会副会長	代理
委員	公益財団法人東京タクシーセンター指導部長	出席
オブザーバー	国土交通省鉄道局都市鉄道政策課駅機能高度化推進室長	出席
オブザーバー	国土交通省都市局街路交通施設課街路事業調整官	出席